

新規就農者アンケートより（令和4年12月実施）

笠間地域就農支援協議会

就農10年未満の46名に郵送し、笠間市14名、城里町3名、不明1名の方から回答いただきました。

1 就農形態

新規学卒	Uターン	新規参入	無記入
1	2	13	1

2 出身地

県外	笠間市	城里町	それ以外の県内
5	6	0	6

3 就農何年目

1年目	2	3	4	5	6	7	8	9	10年以上
	5	3	3	1		1	2	1	1

4 経営類型

露地野菜	施設野菜	果樹	普通作	花き	畜産	その他
4	0	2	3	2	1	5

※その他（露地野菜＋施設野菜3、露地野菜＋花き1、露地野菜＋普通作1）

5 研修先

一般農家	農業法人	その他	研修無し
10	2	2	3

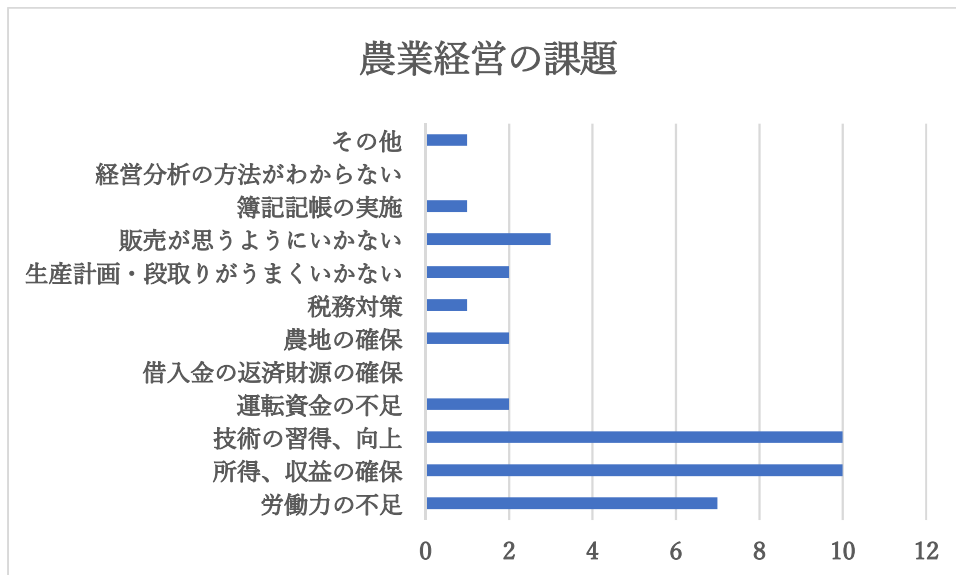
6 直近の農業所得

赤字	0～250万円	250～500万円	500万円以上	無記入
3	7	3	3	1

7 R4年の経営はR3年と比べて

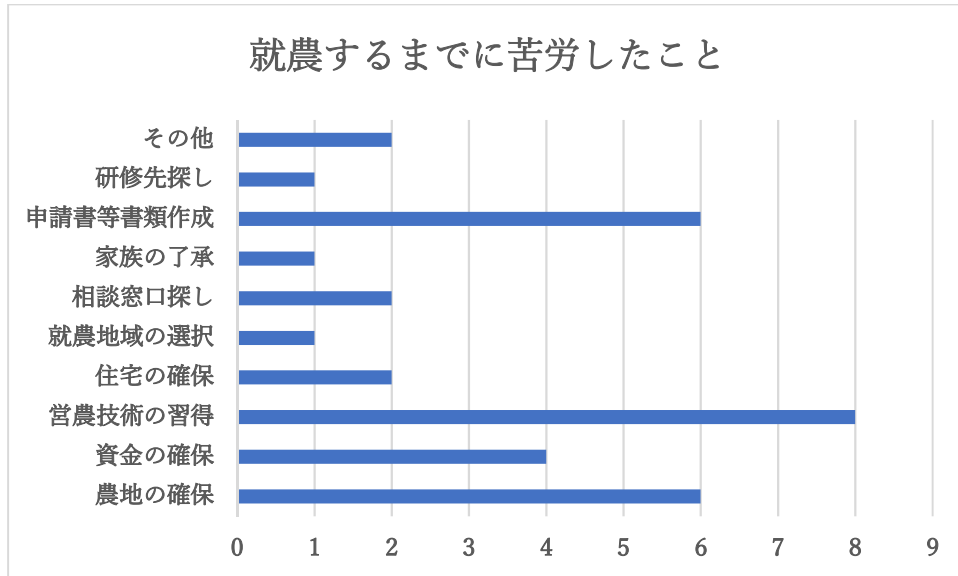
良くなる	変わらない	悪くなる	わからない
5	8	3	1

8 現状の農業経営の課題は何ですか。（複数回答）



※その他（気候変動への対応（猛暑、厳冬対策）、コロナ影響による需要減少への対応）

9 就農するまでに苦労したことは何でしたか。(複数回答)



※その他（体力・モチベーションの維持、経営計画の作成（品目の選択））

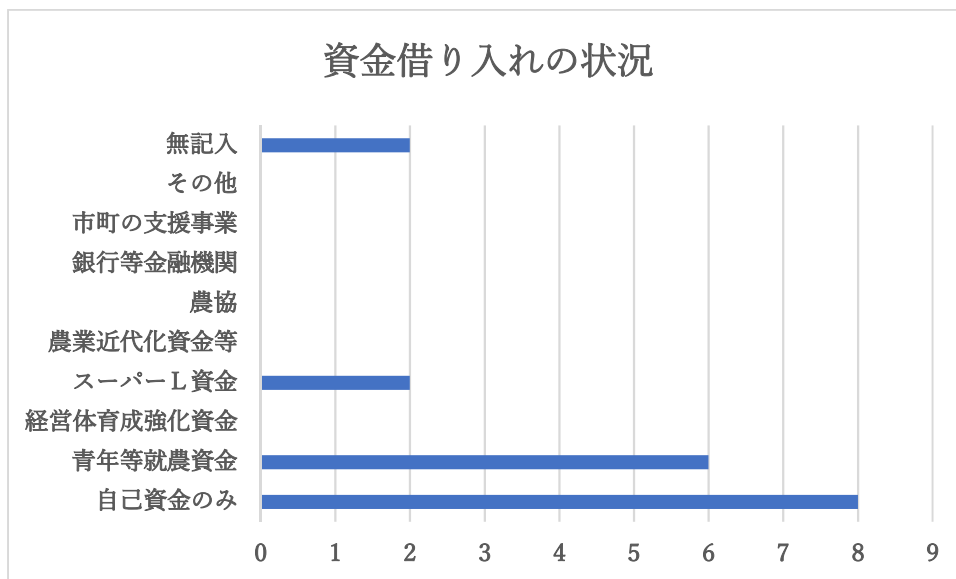
10 就農時の住宅の確保状況

自分で探した	市町等他の方のお世話になった	無記入
5	3	9

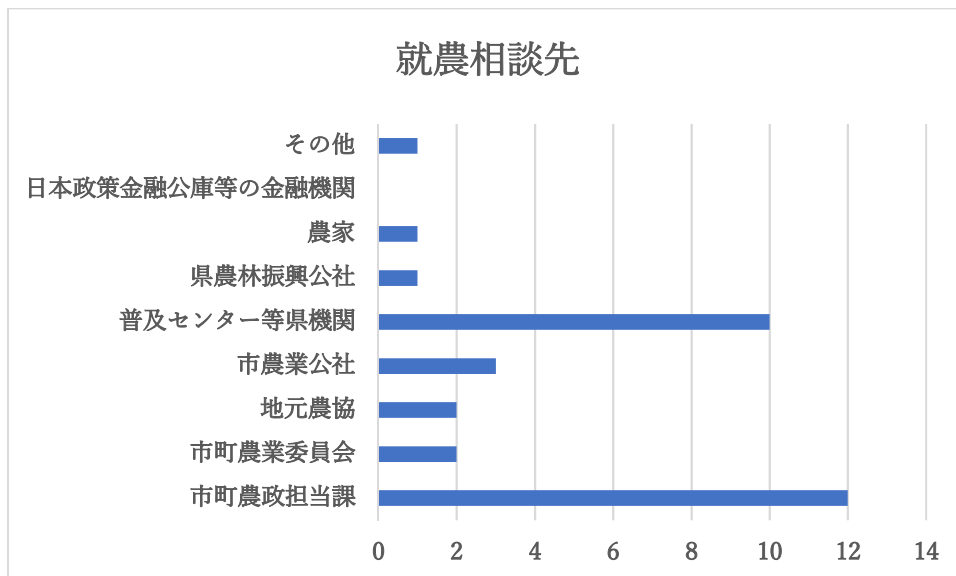
※住宅の確保では、JAの担当者のお世話になった。

一戸建てを借りた	アパートを借りた	中古住宅を購入	新築した	実家	配偶者の実家	その他
3	6	2	0	3	2	1

11 就農時の資金借入れの状況(複数回答)

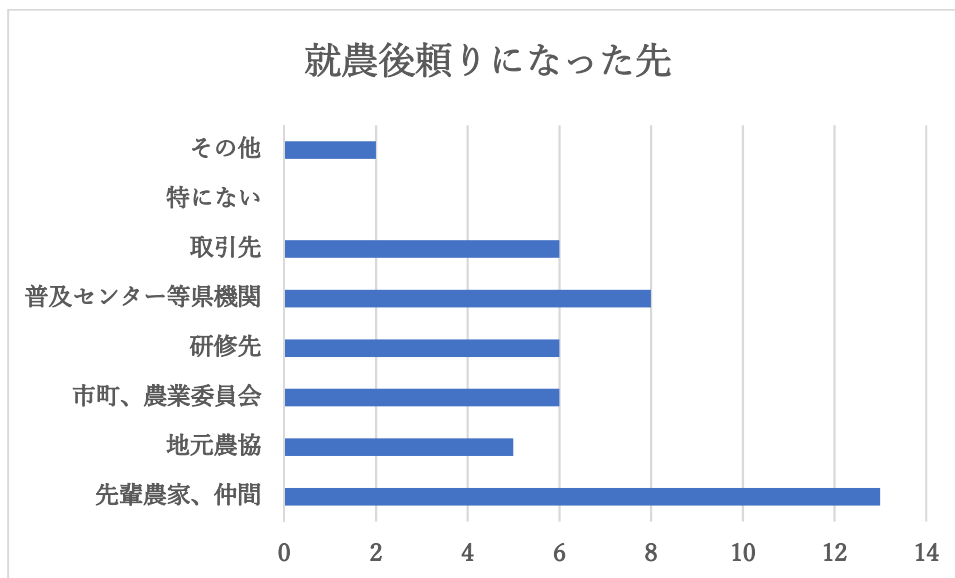


12 就農相談はどこに行きましたか。(複数回答)



※その他（農業支援センター）

13 就農後、頼りになった先はどこですか。(複数回答)



※その他（商工会・地域の方々、農業講座）

14 就農にあたって、どのような支援が効果的でしたか。

- 農業用機械の購入に対する補助金申請
- 就農資金、設備補助金、継続補助金と生活や経営を支えて頂きました。地元農家さん、組合の方々に生産の為のアドバイス、出荷の進言、ご紹介を頂き、励まされて農業に従事することが出来ました。
- 茨城農業アカデミーの講座。行政との繋がり、新規就農された先輩方や横の繋がりができ非常に有益でした。
- 笠間市等の認定新規就農者向けの補助金。青年等就農資金。普及センターの方との計画書の作成。
- 青年等就農資金
- 新規農機械補助金初め準備型等の補助金。とにかくお金がかかるのでたすかりました。
- 農地の紹介。中古農機具店の紹介。
- 普及センターによる事業計画のサポート。農業アカデミー。笠間市の新規就農支援金

- ・ 就農地と住所が違う市だったため、資金などの支援が受けられなかった。
- ・ 土地の確保にあたっては、農業公社の方々に迅速にご対応頂き、助かりました。
- ・ 農地、家の斡旋
- ・ 準備型給付金、講座等の情報、他農家との交流や話を聞く場、研修先のサポート（実技に加え講義形式で学ぶ場があった）
- ・ 茨城営農アカデミーのセミナー関係
- ・ 樹園地継承事業などの金銭的支援。些細なことなどを相談できる農政課、公社、普及センターの担当者の人柄。研修先農家さんがとても親切に農地確保、農機の利用、指導などをして下さったこと。
- ・ 金銭的な支援（ニューファーマー育成事業、青年就農給付金）

15 その地域にその品目で就農することを決意した決め手は何でしょうか。

- ・ 事業拡大が急務だったため
- ・ 地域における周知度が高い品目で販売の土壌があったこと。高単価で販売でき、土地に根付きやすく栽培しやすいことです。
- ・ 地域…自宅からの距離を考えて。品目…過去の経験を活かせることができ、やり抜く気持ちが強かったから
- ・ 品目の違う実家の設備を転用できると考えたため。研修先で教わったことを実践したかったため。花き栽培が盛んな地域なため。
- ・ 市内の特産品目だからです。
- ・ 農協に部会があり、実績があったので。
- ・ 風景を守っていきたい。
- ・ 親が稲作を経営していたが、冬の作業が少なく、多品目を作る為。
- ・ 多品目を栽培しております。ほ場は3ヶ所離れており、それぞれのほ場に合った品目を栽培しようという方針でいます。
- ・ 物流
- ・ 東京に近く、めずらしい品目を販売する先がある。多品目（約 50）が持続可能農業に欠かせないものである為
- ・ 独立後の経営のイメージ、収入の見通しがたてやすかった点
- ・ 将来の生産、販売の安定性
- ・ JAの人にすすめられた

16 就農前後にどのような支援があればよい（よかった）ですか。

- ・ 農産物の加工を前提にする品目を選べば良かったと思います。（アドバイス等）
- ・ 生活費補助…これがないと就農できません
- ・ 栽培だけでなく、販売や営業、売込み資料について研修して頂ける場所を案内して頂けると助かります。
- ・ 報告書の量をすくなくなっていて欲しいです。
- ・ 援農人材の紹介
- ・ コンシェルジュの様な案内の仕組み
- ・ 資金（条件が緩い）
- ・ 生活支援です。資力のある法人が大規模にやる農業ではなく、小規模農家が営農を始める（続ける）には、困難が多いと感じます。

- 販売先の紹介
- 土壌に関する勉強会など、健康な土を作っていく知識を得られる場がもう少しあるといいと思う。
（講座は一度ありましたが、座学でしたので実際の木場などで）
- 様々な農機のレンタルは需要があるかもしれない。
- 土地や空き家の組織的な紹介体制

17 支援する関係機関（市町、農協、県機関等）への要望はありますか。

- 今のところないです。
- 研修生を受け入れたい。ただ、所得 560 万円は天文学的数字で不可能。このままでは有機農家が研修を受け入れなくなる。ぜひ基準緩和をお願いします。とにかく就農希望者が研修を受けやすい環境を整備して下さい。
- 販売や加工（委託先）について詳しく知れるデータ（手数料、利益率）等があると良いです。
- その地域で推していない品目で新規就農する場合に（自分のときは）対応が悪い機関はありました。関係機関の方達には支援する気持ちを持っていただきたかったです。
- 皆様に良くめんどろみて頂いてます。
- 充分なご支援を頂きました。ありがとうございます。
- 離農者と新規就農者をマッチングする仕組みづくり、グループ化。
- 一度も支援を受けられなかった人でも、支援をしていただきますと幸いです。
- どのような支援があるのか（特に有機農家、もともと有機農家への支援）。就農者にダイレクトに通知してほしい。
- 同じ補助制度で担当者によって言う事がちがう
- 農業に携わりたいという方は増えているように思いますが、研修の場、空き家の情報・選択肢が少ないように思う。その辺りのサポートを充実させてもらえると就農者も増えると思う。
- 農業委員会や農業公社など行政機関が多くありますが、農業に携わっていないと各々の機関がどのような役割を担っているか分からず、支援を受けにくいと思います。就農前後に関係機関各々の役割の説明があるとありがたいと思います。
- これからもよろしくお願い致します。
- 業務に習熟した職員の常駐（むやみに人事異動させない）

18 農業経営において、悩んでいたことがご自身の工夫や取り組みによって、改善できたことがありますか。

- まだ模索中です。
- 防草シートを通路、周辺に張る。除草が楽になりました。また、生産量を上げるため反射シートにより地温上昇を防ぎ、防虫を行う効果がありました。
畑のうねに沿ってスズメバチが往復しており、収穫時効率に若干影響がありましたが、経路上の末尾（果樹の枝）にトラップを複数仕掛け、数を減らすことができました。
- 人が集まる機会があれば、その目的があまり自分と無関係そうでも参加するようにしています。そこで出会った人や紹介等の繋がりで欲しい農機を手に入れたり、農地を紹介してもらえました。
- 年間を通して詳細な段取りと計画（月次、週次、日次、時間）
- コスト分析でどこに負荷があるか、農地の団地化で移動を少なくした。
- 他の経営者などに SNSなどでアポを取り、相談をしたり、半日・1 日など研修をさせてもらい自身の経営向上になっている。また、いろんな方たちと交流できるようにいろんな行事に参加してい

る。

- 日々勉強中です。
- 夫婦で営農していくにあたり、それぞれの役割分担をすることで衝突が減った。話し合いの時間を持つこと。
- オリジナルロゴシールや段ボール箱を作ることによって、他の生産者との差別化を図ることができた。
- 常に人とのつながりを持つことを心がけていた。
- それがきっかけで、現在の主力品目の導入につながっている。

19 就農してよかったことや初めて気づいたこと等、これから就農を考えている方へのアドバイスをお願いします。

- 就農して他の農業者と触れ合えたことが何よりの財産。
- 自立経営、誰の指図も受けない素晴らしい仕事です。
- 農業が人や地域を守ってくれる、と強く実感しています。笠間の農業も資本主義の中に成り立っていますが、他業種（住宅や広告、専門店等）と比較すると地域おこしとして大切にされているせいか、人々のつながりが非常に強く、助け合いながら仕事をしていける業種だと思います。農業大國いばらきで、農業で生きていきましょう。
- 十分な資金を用意してから就農した方がよいと思います。
- 地域の皆様と出会いがあったこと。農業を通して人としての新たな学びが出来ました。
- 指導者をよく選ぶこと。経財的な余裕。体力、健康面での余裕。短期、中期、長期の目標と計画。自己管理。
- お米はまだ経営的に不安定のためアドバイスできないが、近い将来良くなると信じている。
- たくさんの人と出会えることができた為、自分自身成長することができた。深く農業を知る事で奥の深さや、やり方によっていろんな事が出来る為、改めて自然や農業を楽しむことができた。
- よかったこと：ただ野菜作りが好きで、日々楽しく作業しています。身体を動かし汗を流し、今のところ健康に過ごしています。気づいたこと：この所、フードロスがマスコミ等でもよく話題になりますが、その前に、農家が育てた野菜が規格外、虫食い（有機なので）などで出荷をためらう、しない”出荷ロス”が多いということです。
- 自制すること
- ストレスを抱えて会社に勤める必要はなし
- 自分達のペースで仕事をしていくことはチャレンジでもあり、満足感のあることでもあります。周りの方ともコミュニケーションを取る機会が増え、地域のサポートがどれだけ大切かを痛感します。自分たちの作品である生産物をお客さんに直接お届けできる喜びとやりがいは一言では言い尽くせません。
- 良くも悪くも全て自分の采配で進められるので、持続的に経営していける戦略を持つことが大切だと思います。
- 梨が食べ放題なところ。美味しいと言ってもらえること。農業において栽培も食する際も品種が重要だということ。就農は自分で思い描いているようには進まなくて当たり前なので、たくさんの方の助けを借りて、たくさんの方の感謝の気持ちをもってじっくり進めていくことが大事だと思います。農業楽しいよ！
- 農業は極端に生産性の低い産業だと痛感した。しかし、やりがいはある。先例からよく学び、スマートに就農できるようにしてほしい。